

地域計画（案）

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第1回目)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	東串良町 46028
地域名 (地域内農業集落名)	池之原街道地域 雪山

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	35.34 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	30.12 ha
② 田の面積	0.00 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	35.34 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.00 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.00 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。  
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。  
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。  
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。  
 5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。  
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地区は耕作条件は町内でも良い地区であるが、住宅街に隣接しており、農地と住宅の混住化が進んでいる。そのため、農家は堆肥の使用や作業中の騒音、粉塵などに配慮しながら作業を行っている。  
 法人が耕作している農地が多く、空き農地を法人へ農地を集約・集積したいが、地権者の同意が得られない農地も存在する。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

連作障害防止のため、露地園芸作物と牧草のエリア分けを行い、ブロックローテーションを実施する。  
 混住化が進んでいるので、農振地域の周知を周辺住民に行う必要がある。  
 周辺農家同士で作業の委託や機械の共有ができる体制を構築する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地バンクへ貸付けを進めつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	20 %	将来の目標とする集積率	30 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
後継者がいない農地については担い手への集積を進める。			



